



Hirado City Photo News

12/12 コロナの収束を願って



県立田平公園で行われている「第14回光のフェスタ2020」の一環で、新型コロナウイルス感染症の収束を願い、約400発の花火が打ち上げられました。会場には花火とイルミネーションを見ようと家族連れなどが訪れていました。

今年の光のフェスタは、例年より規模を縮小して開催中。イルミネーションは、新型コロナウイルスに最前線で戦っている医療従事者への感謝を伝えるため「Light it blue」という「青」にこだわっており、1月5日(火)まで見ることができます。

Hirado City Photo News

12/5 大航海時代の「食」を体験



田平町上里地区の畑で小麦づくり体験講座が開かれ、家族連れなど約20人が参加し、小麦の種まきを体験しました。

この取り組みは、オランダ商館時代の「食」に注目し、オランダ原産のヒツジ「テクセル種」を用いて除草した畑で、小麦の種まきから収穫・パン作りまでの一連のサイクルを体験し、大航海時代の平戸を感じてもらおうというものでした。

参加者は、約2時間かけて、種をまき、土をかぶせて踏みしめる作業に取り組みました。

Hirado City Photo News

11/12 畦島の農家に肥料や土を提供



度島ふれあいセンターで、度島地区で家庭菜園などをしている農家を対象に、農業用の肥料や土の販売が行われました。

特定非営利活動法人度島地区まちづくり運営協議会が、島民向けに注文受付、本土での購入、島内まで移送・販売を行うことで、離島で農業しやすい環境を提供し、島内の美化活動などにも寄与するなどの農業支援事業として開催しました。この日は、約10トン分の肥料や土が搬入され、多くの島民が軽トラックや運搬車などで受取に訪れていました。

Hirado City Photo News

11/12～25 女性への暴力をなくすために



毎年11月12日～25日までの「女性に対する暴力をなくす運動」期間にあわせ、女性に対する暴力をなくそうという国際的なキャンペーンのシンボルであるパープルリボンにちなみ、平戸オランダ商館が紫色にライトアップされました。

女性に対する暴力をなくす運動は、女性への暴力が女性の人権を著しく侵害し、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題であるとして、毎年実施されており、全国で講演会や啓発活動などが行われています。

Hirado City Photo News

12/13 来年の昇格に向けて平戸文化センターからエールを



平戸文化センターでV・ファーレン長崎のアウェイ最終戦のパブリックビューイングが開催されました。J1昇格を目指すV・ファーレン長崎にとって、負けられない一戦を応援しようと約300人のサポーターや家族連れが来場。元V・ファーレン長崎代表取締役社長の高田明氏やV・ファーレン長崎で選手として活躍した前田悠佑氏も駆けつけ、ハーフタイムには抽選会などで来場者と交流しました。

試合はV・ファーレン長崎が東京ヴェルディに2対0で勝利しました。

Hirado City Photo News

11/27 介護人材に賞賛金を交付



平戸市役所市長室において、平戸市介護職人材確保支援事業賞賛金交付式が行われ、11月から特別養護老人ホームあんのんに勤める岩崎杏香さんへ市長から賞賛金が交付されました。

この事業は、満25歳以下で介護職として就職した人に激励の意を込めて賞賛金を交付するもので、通算で11回目となります。

交付を受けた岩崎さんは「事業所の先輩方から多くのことを学び、よりよい介護職員になりたい」と抱負を述べました。

Hirado City Photo News

11/23 新たな庭園の魅力を知る機会に



未来創造館で平戸学講座「棲霞園」が開催されました。永松義博氏(南九大名誉教授)による庭園の見方、藤吉拓也氏、國分亮氏(西日本高速道路エンジニアリング九州)、吉田健氏(熊本県立大学院)による棲霞園での諸芸、松浦熙の健康長寿を支えた庭園、平戸江戸屋敷「蓬萊園」について発表され、新たな庭園の魅力を知る機会となりました。

講座の後、棲霞園が特別に公開され、発表者による現場での解説も加わり、参加者にはいつもと違う庭園が広がっていたようです。